



自然を
楽しむ

55

「北帰行」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

写真のコハクチョウが北国へ旅立ち始めました。
これらの水鳥はV字や斜め一列の特徴的な編隊飛行により、翼端後方に生じる渦の外側に発生する“上昇気流”を巧みに利用し、省エネ飛行をします。

この技術は、2014年にロンドン大学の先生が絶滅危惧種のホオアカトキの研究でより詳細に解明し、隊形は約1.2mの間隔、後続の鳥の羽ばたきは平均45度の遅れを保っている事が判りました。

大自然の仕組みには、驚愕するばかりですね。